

ストップ リニア

平穏な暮らしを奪うな、環境破壊を許さない！！

山梨リニア沿線住民の会

Mail: qgga9wm9k@titan.ocn.ne.jp

☎ 090-2498-6781（神田）

夢の超特急は環境破壊超特急

品川～名古屋リニア中央新幹線の開業を、JR 東海は、2027年を2034年以降と発表しました。在来新幹線とはまったく違う構造のリニアを、在来の新幹線普及のために作った「全国新幹線鉄道整備法」という法律を使って、国土交通省は民間企業であるJR 東海に事業及び工事認可をしました。全国各地で、地下トンネル工事によって、重金属の流出・減濁水・地盤沈下・建物亀裂・酸欠気泡の発生などの事故が発生しています。また土砂置き場・立坑・変電所・保守基地・車両基地・駅等の設置で、住み慣れた土地を追われる人々はあとを絶ちません。

以下、リニア沿線の住民の声です。

実験線では多くの沢の水が枯れる

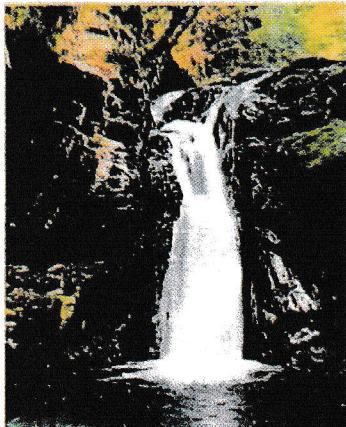
上野原市秋山地区では、リニア実験線延伸工事の東側部分（品川方面7.8キロ）の工事により、秋山川に流れ込む大小の支流の地下を、串刺し状に掘り進んだ結果、ほとんどの沢で水枯れが発生しています。

JR 東海では、苦情のあるたびにその場しのぎの姑息な対策を実施しています。

中でも、秋山川源流近くに合流する「棚の入り沢」は、水量が多く本流に匹敵するほどでしたが、工事が進むにつれ水量が減少し、ついには水枯れが発生し、干上がり河原化してしまいました。

この地下水はトンネル勾配に沿って、隣の都留市側方面に流出していると言われています。

生活用水でもある、小規模水道用水、簡易水道用水は、この沢の水が枯渇してしまったため、JR 東海は応急的に夜間給水車で排水槽に補給していました。



（リニア延伸工事前の豊富な水量の棚の入り沢「王見の滝」。今は水枯れし、滝つぼにも水はなくなりました。）

秋山地区全体では、水枯れによって、小規模水道施設、簡易水道施設、農業用水、工業用水、防火用水、養魚施設、農業用営農飲雑用水施設等に多大な被害が発生しています。

営業線トンネル工事による

水枯れの予測

この先の、営業線工事計画では秋山川と同じく安寺沢川に流れ込む大小の支流の地下を串刺し状に掘り進む計画のため、同様の被害が発生するものと想定されています。またトンネル勾配は隣の神奈川県方面に傾斜しているため、地下水は神奈川県相模原市方面に流出すると思われています。

これらの水量の減少によって大きく影響等があると思われるのは、生活用水はもとより大量に水を必要とするゴルフ場の芝の管理や、神奈川県堺先で行っている神奈川県企業庁の水力発電の発電量に大きく影響すると思われています。

リニア沿線生活者への

計り知れない強者のエゴ

リニア通過予定地に住む上野原市秋山地区安寺沢集落は、安寺沢川沿いに20数戸あるが、振動や騒音、更には数キロに及ぶ低周波音などにより、平穏な生活ができる環境ではありませんし、計り知れない被害に会う危険性に直面しています。（秋山住民記）